松戸市環境未来会議2025

第3回　脱炭素な移動について考えよう！

2025 年 8 月 24 日（日）13:00 ～ 17:00
キテミテマツド9階　アートスポットまつど

参加者の皆様へ

- ✓ 記録や取材のため、会議の様子を撮影、録音します。
- ✓ 動画の一部は、後日、松戸市公式YouTubeで配信します。
- ✓ 写真の一部は広報に使用する可能性があります。
- ✓ 写りたくない方は、お近くの事務局スタッフまでお声掛けください。
- ✓ 参加者が写真を撮影される場合は、他の参加者の個人を特定できない写真となるようにご配慮をお願いします。
- ✓ 十分ご配慮いただいていれば、その写真をSNSへ投稿していただいても構いません。

傍聴者の皆様へ

- ✓ グループワーク中については、席を立ち見ることは可能ですが、参加者への声掛けをしない、参加者の中に入り込まない、参加者の導線を妨げないでください。
- ✓ 傍聴人は、会議での発言はできません。
- ✓ 写真撮影・SNSへの投稿などは、良識の範囲内で行っていただいて問題ありません。ただし、参加者やその発言が特定されないよう、十分に注意してください。
- ✓ 動画撮影や録音は、主催者の許可がある場合以外は行わないでください。

会場の皆様全員へ

- ✓ 地震、火事等の災害時には、会場のアナウンスやスタッフの指示に従い、落ち着いて行動してください。

松戸市環境未来会議2025

第3回　脱炭素な移動について考えよう！

2025 年 8 月 24 日（日）13:00 ～ 17:00
キテミテマツド9階　アートスポットまつど

電動トライクそらぴか号

【出典】銀座環境会議HP

松戸市環境未来会議とは

【目　的】

- ✓松戸市は、気候変動問題に対処するため、市民、事業者、行政が連携して取り組み、二酸化炭素排出量を実質ゼロ（＝ゼロカーボン）とすることを目指しています。
- ✓この会議では、この問題について学びながら議論を重ね、「ゼロカーボンシティまつど」の実現に向けた取り組みをまとめます。

【参加者】

- ✓無作為に抽出した松戸市民から応募者を募り、世代構成や男女比が市の縮図となるように、50名の参加者を選びました。

松戸市環境未来会議に関わる人々

参加者：松戸市民50名

主　催　：松戸市

アドバイザー：尾内 隆之　先生（流通経済大学 法学部 法学研究科 教授）

司会進行　：平野 将人　氏（一般社団法人銀座環境会議 代表）

ファシリテーター：松戸市を中心に活動する方たち

運　営：株式会社エックス都市研究所

本日の講師

松橋 啓介先生（国立研究開発法人国立環境研究所，社会システム領域，室長）

2025年度の各回の流れ

第1回

脱炭素を身近に感じよう！

2025年6月15日（日）　講師　江守　正多　先生

第2回

脱炭素な住まいについて考えよう！

2025年7月13日（日）　講師　宮田 征門　先生、竹内　昌義先生

第3回

脱炭素な移動について考えよう！

2025年8月24日（日）　講師　松橋　啓介　先生

第4回

脱炭素な街づくりについて考えよう！

2025年9月28日（日）　講師　倉阪　秀史先生

投票

第5回

目指せ！脱炭素な松戸市

2025年10月26日（日）

※ 全体の流れは、今後、変更となる場合があります。

第2回会議の振り返り

1

講義

「住まいの省エネルギー(住宅設備編)」

講師:**宮田　征門**　先生
国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅ストック高度化研究室長

2

講義

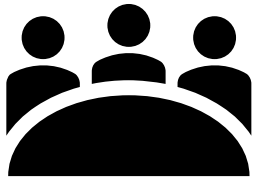
「脱炭素社会に向けての家づくり、健康づくり」

講師:**竹内　昌義**先生
東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科教授

3

グループワークと投票

「住まいの課題・目指すべき姿・取組」



4

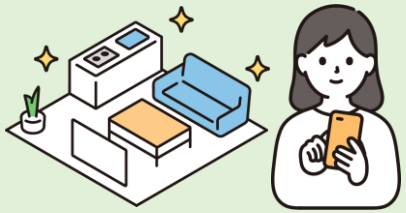
成果発表

グループワークの成果発表

「住まい」に関する提案された取組一覧　1

＃市民で省エネチャレンジ

- 日よけ対策として、よしず・タープなどを活用する
- 省エネリフォームや、省エネリノベーションに市民で取り組む
- 自主的なDIYや、家電の買い替え、照明器具の買い替えなど省エネにつながる行動を実践する
- 打ち水、すだれ、生垣を取り入れるなど、昔の涼しさを得る行動を、生活に取り入れる
- 電力・水・ガスの使用量の見える化のために、スマートメーター・モニターを設置・確認する
- 賃貸住宅で、大家さんに掛け合って、窓のリノベを相談し、国の補助金を活用する
- 乗り合いバスを利用する
- 行政主体のDIY等の講演会に自主的に参加し、知識を獲得する
- 市民もしっかり市が発信する情報をキャッチする



＃市・県・国への市民からの要望

- エコハウスの普及促進に向けて、市は太陽光パネル、蓄電池、オール電化、断熱改修、省エネリフォーム等を対象とした補助制度の新設または補助額の拡充を検討する。
- 医療費を断熱住宅への費用に回す
- 省エネ・断熱性能に関する住まいの法的基準を整備する
- 東京都のように太陽光発電設備の設置を義務化する
- 松戸独自の規制で怪しい太陽光発電の訪問営業を禁止する
- 省エネ住宅等への税制優遇など温暖化対策に協力すると減税する仕組みを作る
- 省エネ住宅の購入や建て替えローンが組みやすい仕組みを作る

「住まい」に関する提案された取組一覧　2

＃普及啓発

- 市は「省エネ＝高い」というイメージをなくすため、省エネ住宅のメリットや、省エネ・断熱のDIYについて市民が学ぶ機会を作る
- 補助金検討内容を市民に公開するなど、公報で補助金の制度の周知を徹底する
- 断熱材の良さを市でPRする
- 省エネの取組をポイント制にして還元できる仕組みを作る
- 公式Youtubeなどで省エネに関する講義を配信する
- CO_2排出量削減のための相談窓口・ホットラインを設置・強化する
- 「環境未来会議」を継続する
- 環境教育を子ども・大人向けに充実化させる
- 学校のマネー教育の一環として、住宅の環境について取り扱い、興味を持つ若者を増やす
- 小学校単位で前年度と今年度の電力使用量の差を競う「学校対抗型の見える化実験」を実践する
- デンマークのような先進国の具体的な取組を教育場面でも学べるようにする
- インフルエンサーにエネルギー使用量の見える化を実践・発信してもらう
- エネルギー使用量の変化を市民が実感できるように、電気・ガス・水道などの消費量を可視化する仕組みを導入する
- 天気予報のように、CO_2排出量をテレビで配信する
- エネルギーの効率的利用に向け市民でビジョンを共有する
- 使用電力量をマップ化し、地域ごとにゲーム感覚で競わせる
- テレビ、ラジオ、SNS掲示板などを有効活用するなど、情報発信方法を工夫する

「住まい」に関する提案された取組一覧　3

#緑化

- 条例で緑化を推奨もしくは義務化する
- 市で緑のカーテンの種を配布する
- 会議メンバーで松戸駅周辺に植物を植えて緑化を推進する
- 維持管理で緑を増やす取組を推進する（緑化住宅のメンテ補助、シルバー講師の派遣）
- 緑の大切さや木のぬくもりのある家について市民に周知する

#その他

- 窓の日よけに関する補助金をホームセンターで前面に押し出す
- 新市役所に太陽光発電を設置する
- 同じ問題をかかえるマンション・戸建ての横のつながりを作る
- 複数の管理組合で協働し、省エネの建て替え資金を確保する仕組みを作る
- 新しい家は省エネ基準を順守した上で、古い家の積極的リフォームを推進する
- 市民が公共交通を積極的に使えるよう整備し、コンパクトシティを実現する
- 地域でエネルギーを自給自足し、余剰分を分け合う地産地消の仕組みを松戸市で実現する

本日のプログラム

13:00～13:25　開会・前回の振り返り

13:25～13:35　市のテーマに関する情報提供

13:35～14:20　講義「移動の脱炭素」
講師　松橋 啓介先生
（国立研究開発法人国立環境研究所，社会システム領域，室長）

14:20～14:35　休憩

14:35～15:35　グループワーク

15:35～15:50　投票

15:50～16:05　休憩

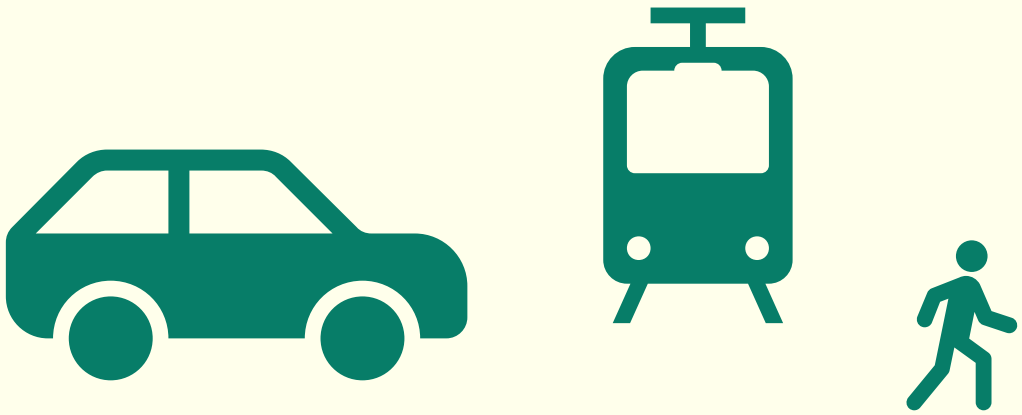
16:05～16:20　グループワーク

16:20～16:45　成果発表

16:45～17:00　本日の総括・閉会

第3回会議の概要

「脱炭素な移動について考えよう！」



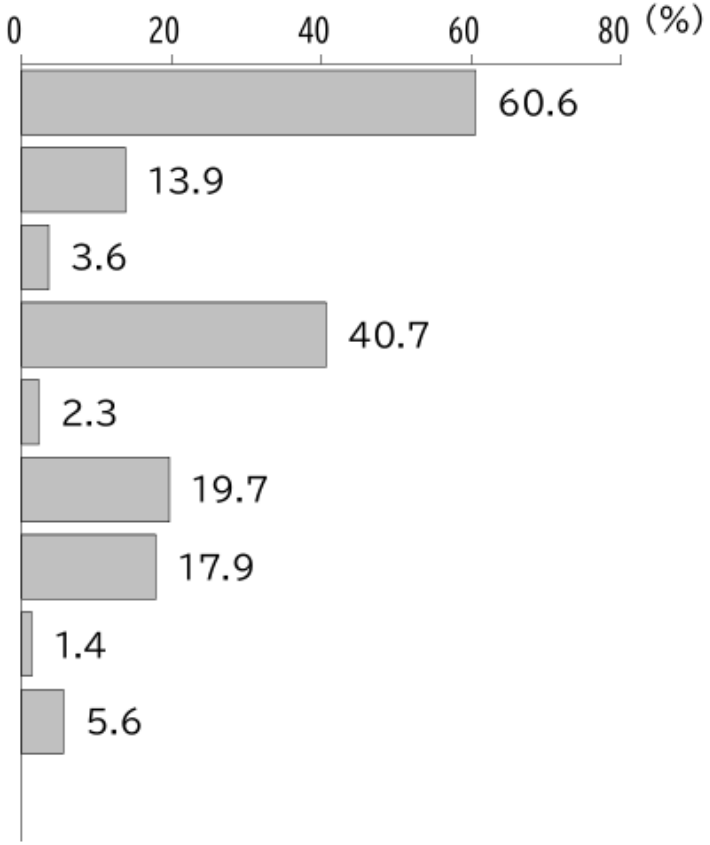
市のテーマに関する情報提供

松戸市民の主な交通手段

- 令和5年度市民意識調査の結果によると、松戸市民が通勤・通学を含めたお出かけの時に利用する交通手段として、最も多かったのが、電車で続いて自家用車であった。

主な交通手段　（2つまで回答）

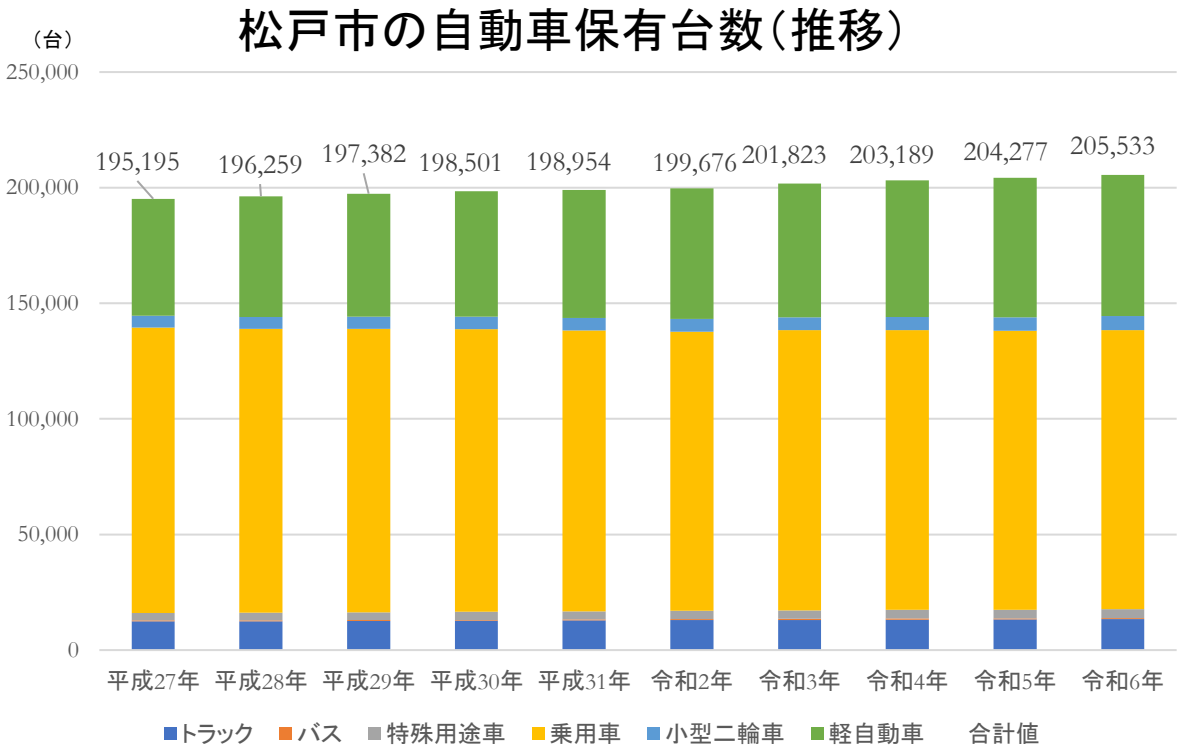
	基数	構成比（%）
電車	887	60.6
バス	204	13.9.
タクシー	53	3.6
自家用車	596	40.7
オートバイ・スクーター	34	2.3
自転車	289	19.7
徒歩	262	17.9
その他	21	1.4
無回答	82	5.6
全体	1464	100.0

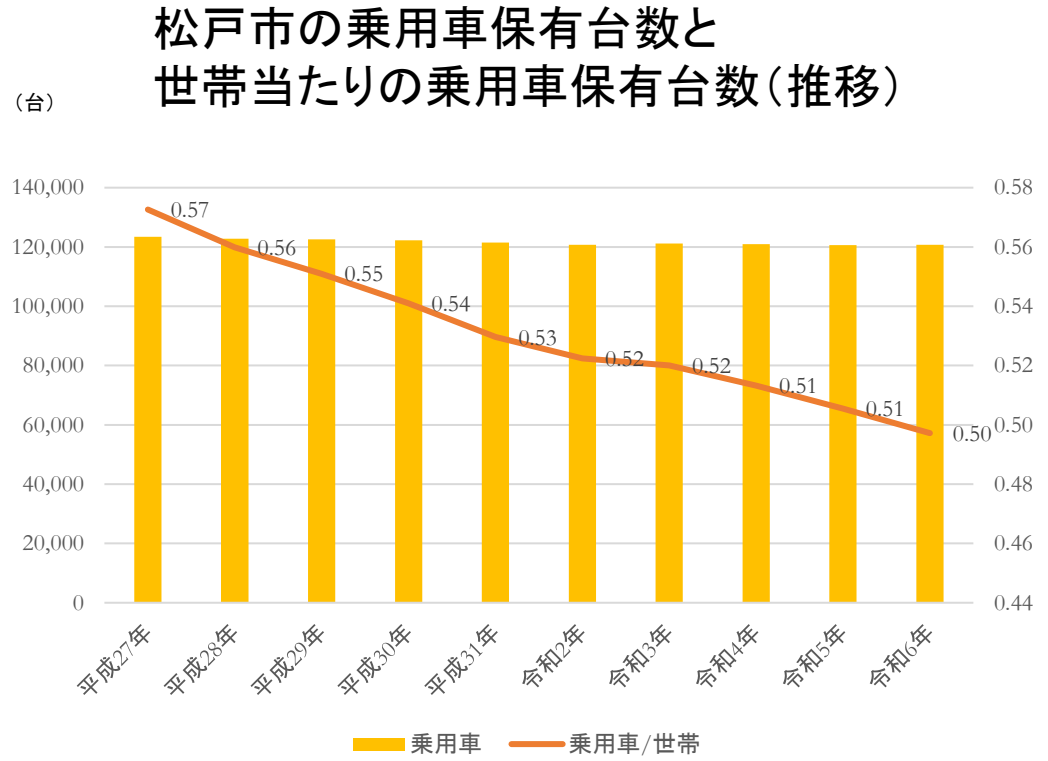


【出典】令和5年度 松戸市総合計画進行管理のための市民意識調査 報告書

松戸市の自動車保有台数

- 松戸市の自動車保有台数は、平成27年195,195台で、令和6年205,533台と増加傾向にある。
- 松戸市の世帯当たりの乗用車保有台数は、平成27年0.57台/世帯で、令和6年0.50台/世帯と、減少傾向にある。（2世帯に1台保有）



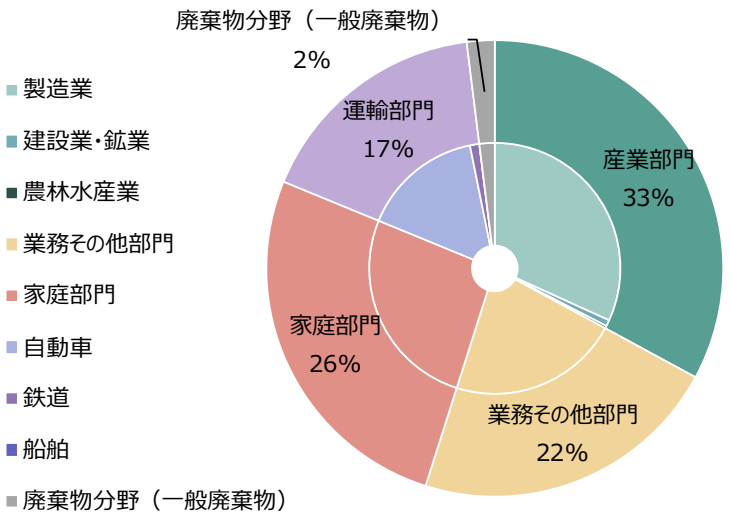


【出典】松戸市統計書　令和6年版　自動車保有台数、世帯数及び人口の推移を基に事務局でグラフを作成

松戸市の温室効果ガス排出量（運輸部門）

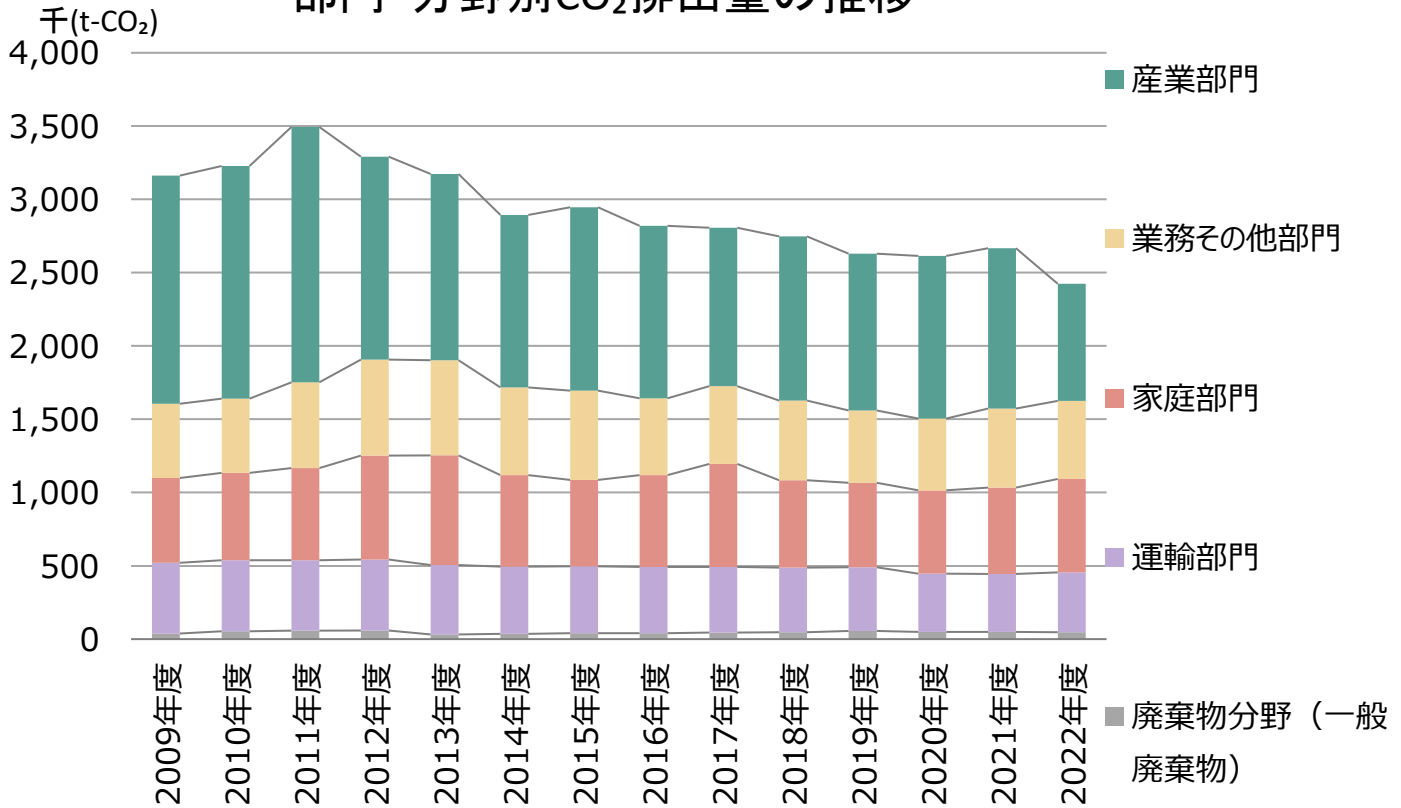
- 2022年度松戸市区域のCO_2排出量2,424千t-CO_2のうち、運輸部門は全体の約17%を占める。
- 区域のCO_2排出量は基準年度（2013年度）から削減傾向にある。運輸部門の排出量も基準年度より減少しているが、産業部門と比べると大きな変化は見られない。

2022年度部門・分野別CO_2排出量構成比



部門・分野		[千t-CO_2]	構成比
合　計		2,424	100%
	産業部門	798	33%
	業務その他部門	533	22%
	家庭部門	638	26%
	運輸部門	408	17%
	廃棄物分野	48	2%

部門・分野別CO_2排出量の推移



【出典】環境省自治体排出量カルテ

松戸市のグリーンスローモビリティ

- グリーンスローモビリティとは、時速20キロメートル未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスやその車両のこと。
- 地域住民の自分らしい暮らしを支えるために、地域での買い物やグループ活動、イベント等さまざまな地域の活動に活用できる。

グリーンスローモビリティの車両

- 松戸市内の4地域（河原塚地区、小金原地区、矢切地区、六実六高台地区）で運行
- 乗車料金は無料

【出典】松戸市HP

松戸市の公用車

- 松戸市では公用車として燃料電池自動車(FCV)を導入。
- 他にも、電気自動車（EV）を5台公用車として運用しております。

燃料電池自動車「MIRAI」

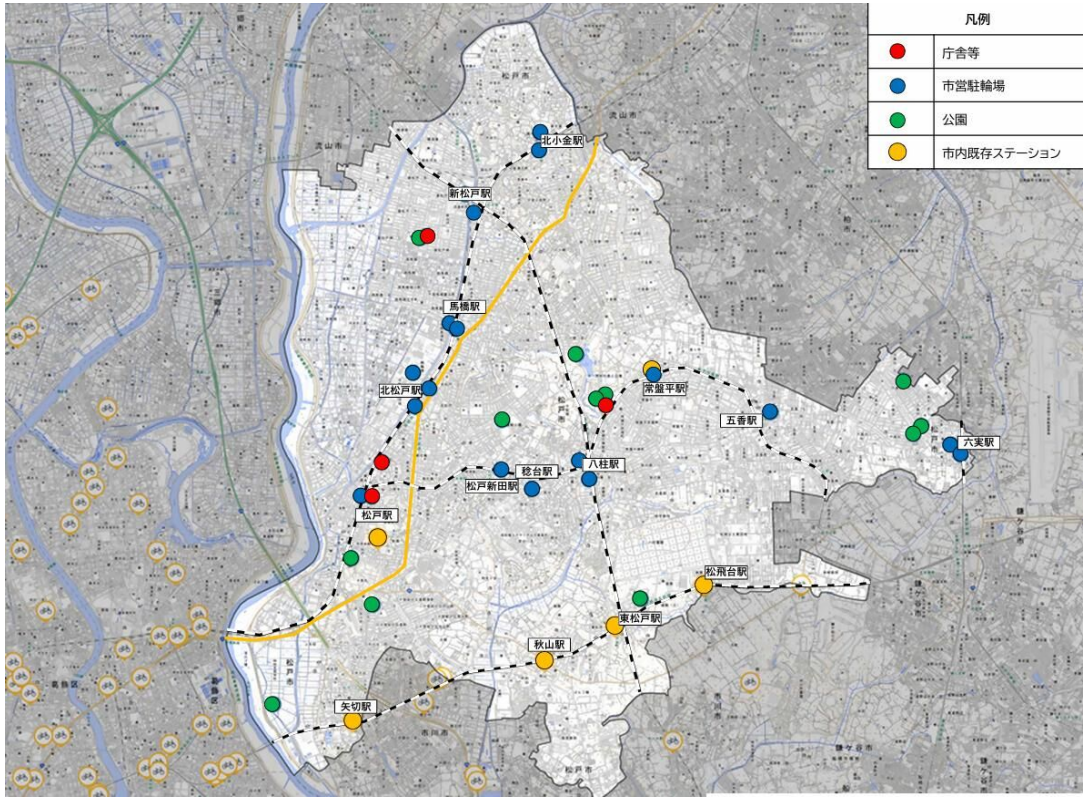
電気自動車「リーフ、サクラ、ミニキャブ」

【出典】松戸市　HP

松戸市のシェアサイクル

- 松戸市は、令和6年3月にシェアサイクルプラットフォーム「HELLO CYCLING」を運営するOpenStreet株式会社と事業協定を締結。
- 市内34の公共施設にシェアサイクルステーションを設置。 ※令和6年4月の段階

松戸市内のステーション



シェアサイクルステーション設置箇所図

【出典】松戸市　HP,PRタイムス「松戸市の公共施設にシェアサイクル導入　4月17日（水）正午からサービス開始」

松戸市の車両・充電設備関連の補助金情報

松戸市の車両・充電設備関連の補助金情報

種別	補助額
電動バイク等の導入	上限2万円
電気自動車の導入※	上限3万円～15万円
燃料電池自動車の導入	上限5万円
急速充電設備の導入	上限40万円
普通充電設備の導入	上限10万円

※電気自動車等の補助金は、平成22年度から令和6年度までに327件交付されている。

【出典】松戸市　HP

講義「移動の脱炭素」

【講師】松橋 啓介先生

国立研究開発法人国立環境研究所, 社会システム領域, 室長

【専門】低炭素社会,持続可能な交通

土地利用、交通インフラ、経済的誘導を組み合わせた運輸部門のCO2排出量削減シナリオ、気候市民会議　等

略歴

- 東京大学 工学部都市工学科 卒業
- 東京大学大学院 工学系研究科 修士課程（都市工学専攻）修了
- 1996年より環境庁国立環境研究所に勤務（→独立行政法人国立環境研究所に改組）
- 東京大学より博士（工学）の学位取得
- 2021年より国立研究開発法人　国立環境研究所　社会システム領域　地域計画研究室長（現在に至る）

参加者同士の自己紹介

グループワークの流れ1

KJ法を使ってグループのアイデアを形にしよう！

KJ法とは、断片的な情報やアイデアを効率よく整理する手法。
文化人類学者の川喜田二郎氏によって考案された手法で、彼のイニシャルを取って命名された。

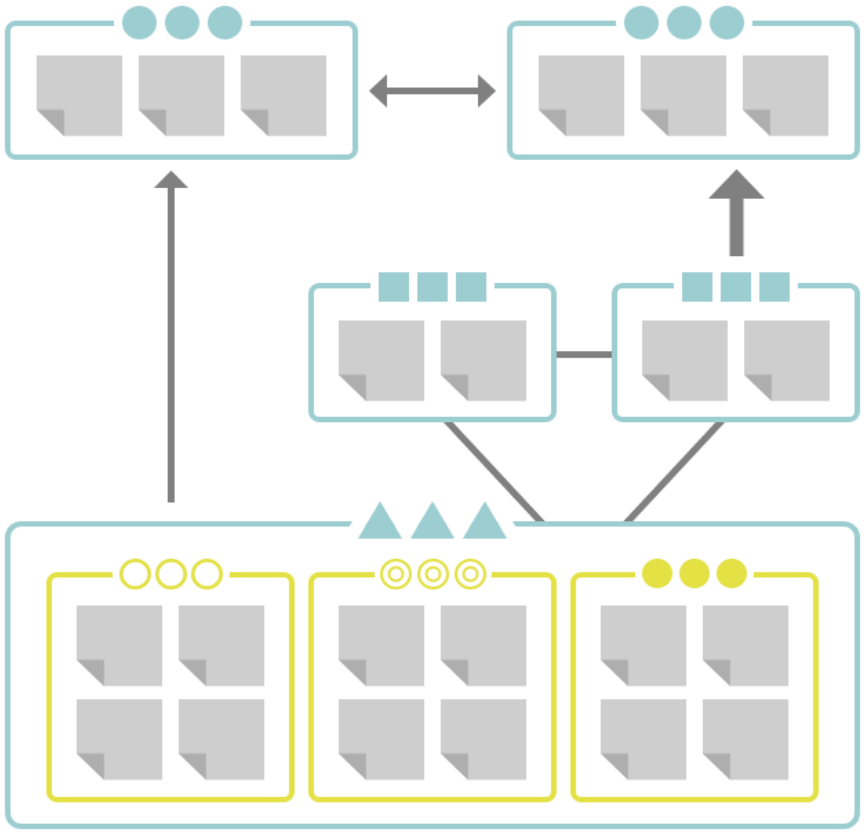
KJ法の流れ

1 ポストイットなどにアイデアを書き出す

2 似たアイデアをグループ化する

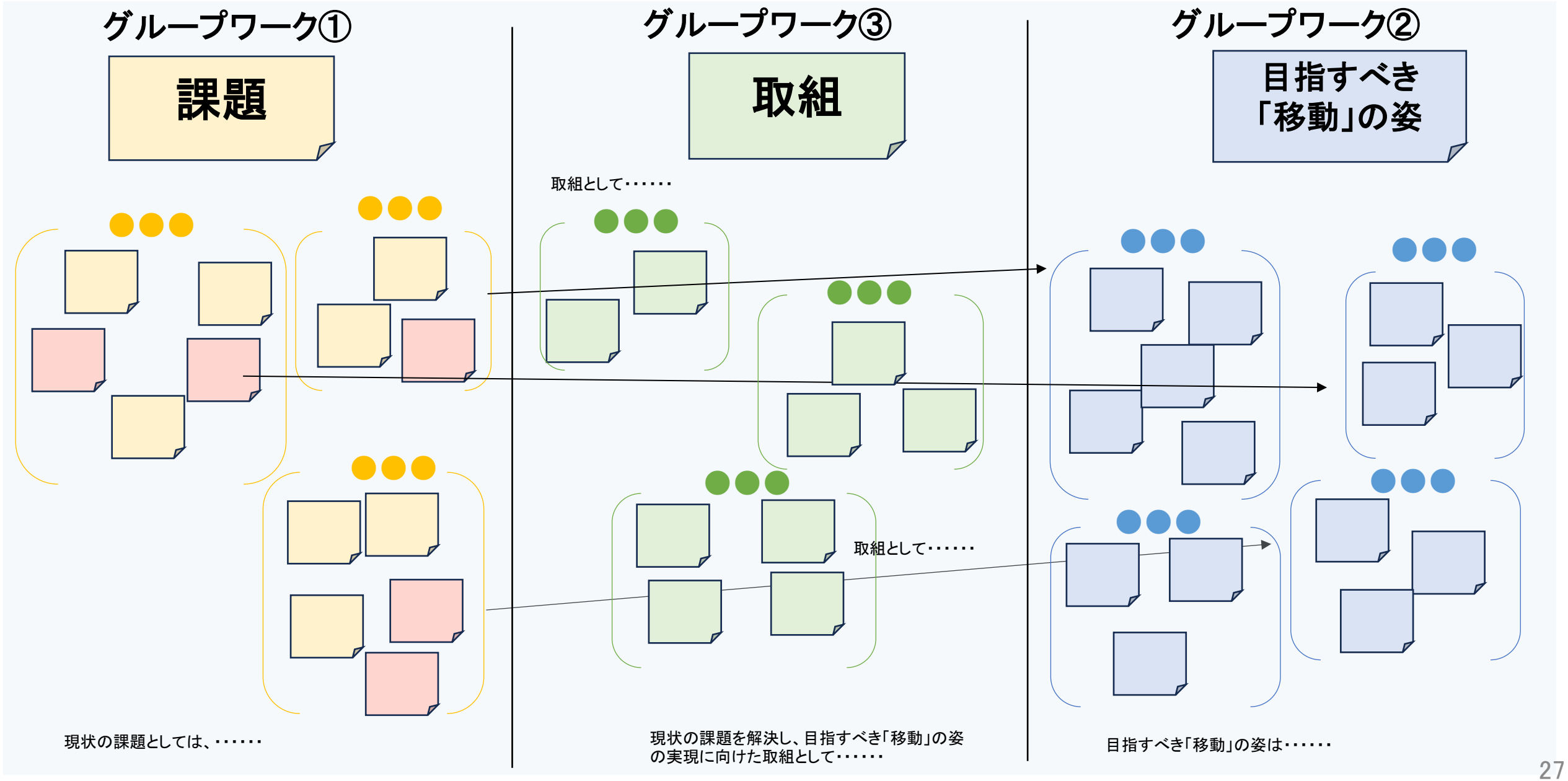
3 各グループの相関性を図解する

4 グループ名や相関を文書化する



（出典）NIJIBOX BLOG

グループワークの流れ2



グループワークのポイント

1.否定厳禁：どんな意見がでてきてもそれを否定しない

2.自由闊達：自由な発想を歓迎しとっぴな意見でもかまわない

3.量を求む：数で勝負するので、できるだけたくさんの意見を出す

4.便乗発展：他人の意見に便乗してさらにアイディアを発展させていく

5.グループの同意：意見を文章やキーワードでまとめる際は全員の同意を取る

グループワーク①　課題を抽出

【グループワークの進め方】

「移動」に関する課題を抽出(15分)

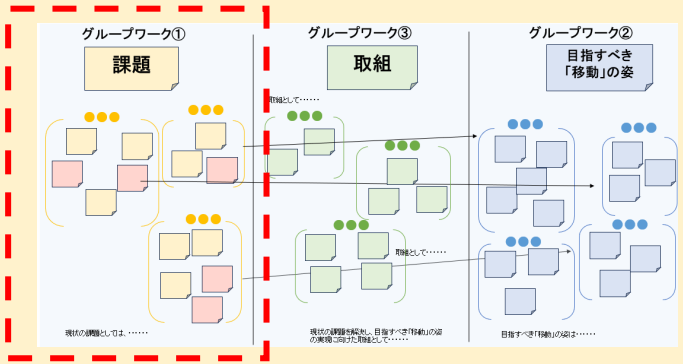
1　ポストイットにアイデアを書き出して貼る
（日常で移動に伴ってCO_2を排出する場面や、その理由を考える）

⇓

2　似たアイデアをグループ化する

⇓

3　重要だと思う課題についてグループ内で議論し、
　文章やキーワードで整理する



どんな場面でCO_2を排出？	その理由は？
毎日の通勤でガソリン車を使っている	満員電車に乗りたくないから
	EV車は不便に感じるから
お買い物や送り迎えでガソリン車を使っている	スーパーや保育園が遠いから
	暑すぎて、歩けない・自転車に乗れないから

グループワーク②　目指すべき「移動」の姿の検討

【グループワークの進め方】

目指すべき「移動」の姿を検討(15分)

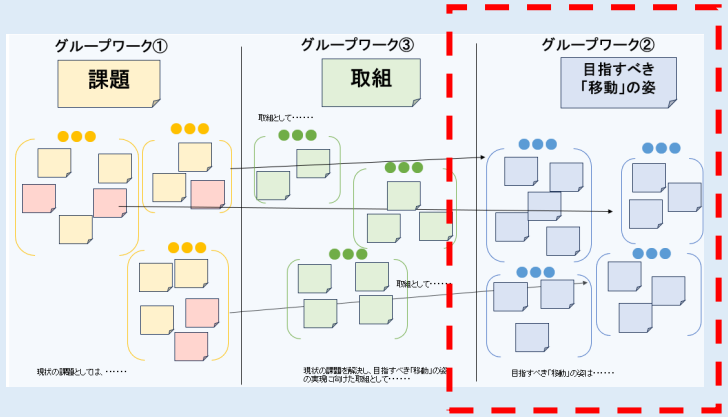
1　ポストイットにアイデアを書き出して貼る

⇓

2　似たアイデアをグループ化する

⇓

3　目指すべき「移動」の姿を1～3個程度に再整理し、文章やキーワードで整理する



グループワーク③　取組の提案

【グループワークの進め方】

<u>目指すべき「移動」の姿の実現に向けた取組の提案（20分）</u>

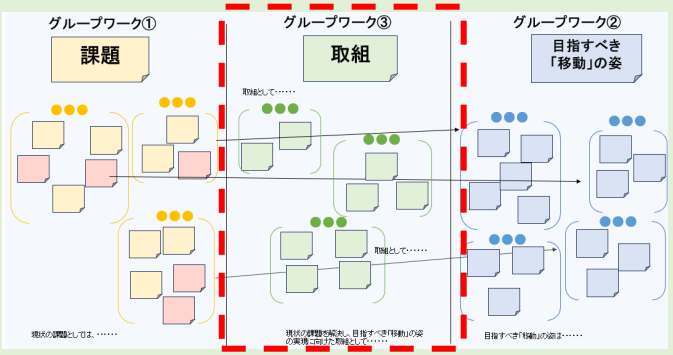
1　ポストイットにアイデアを書き出して貼る
（課題を解決し、目指す姿に近づくような取組は？）

⇓

2　似たアイデアをグループ化する

⇓

3　課題と、目指すべき「移動」の姿を線で結び合わせ、
重要だと思う取組について議論し、文章やキーワードで整理する。

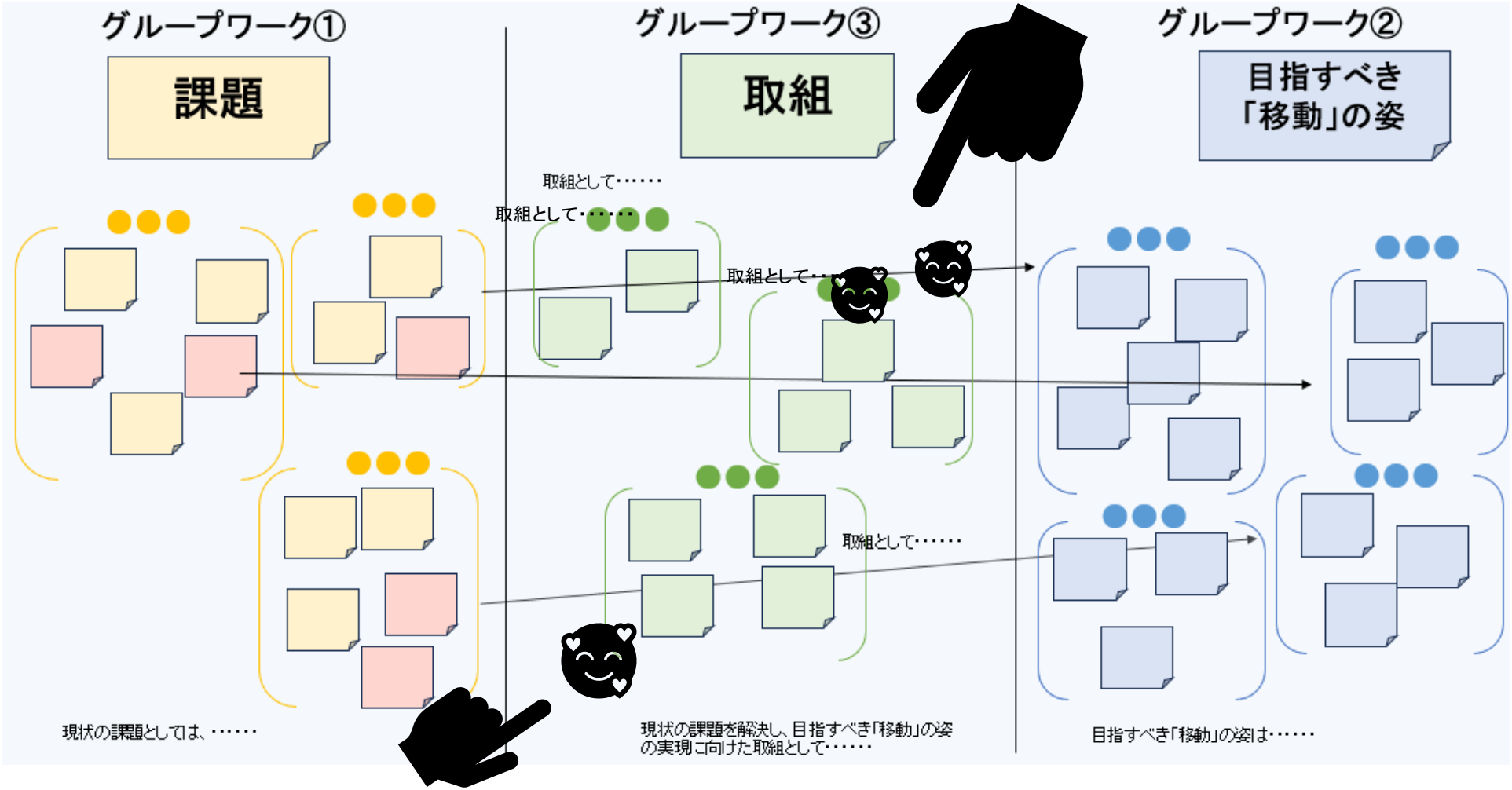


満員電車に乗りたくない → オフピーク定期券を積極的利用する → 移動時のストレスが少ない社会

投票

【投票の進め方】

15分以内に、他のグループの取組を見て回り、良いと思う取組に**1人10個**までシールで投票する。



グループワーク④　取組の整理と発表準備

【グループワークの進め方】

<u>投票結果を受けて、再度グループの取組を整理、発表準備(15分)</u>

- 他グループからの投票結果を受けて再度、市民が実施する必要のある取組をグループの意見として整理
- グループワークの成果発表に向けて発表する事項を整理（発表者の選定　1～2人程度）

- 発表事項は①グループで考えた課題、②目指すべき「移動」の姿、③目指すべき姿を実現するために市民として実施する必要がある、または実施していきたい取組について

- 各グループ2～3分に収まるように内容を整理　（グループ1→グループ2→・・・の順番）

グループワークの成果発表

本日の総括

35

次回会議の案内

第4回テーマ
脱炭素な街づくりについて考えよう！

【日 時】

2025年9月28日（日）

13:00～17:00（12:40受付開始）

【場 所】

キテミテマツド9階　アートスポットまつど

（住所：松戸市松戸1307の1）

本日と同じ

次回会議までのお願い

次回のテーマ「脱炭素な街づくりについて考えよう」に向け
街づくりの課題や理想像、実施できそうな取組を考える

その他事務連絡

✓アンケートへのご協力をお願いいたします。

✓お帰りの際にクオカードをお渡ししますので受付までアンケートと名札をもっていらしてください。その際、クオカードの受領を確認するために、サインをいただきます。

✓この会場は、18:00までご利用いただけます。
参加者同士の交流の場としてご利用ください。